

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大北の歴史伝承・デジタルアーカイブ化事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 縁家 (0261-22-4018)
事業区分	(3) 教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	494,050円 (うち支援金: 370,000円)

事業内容

歴史を語る講師が減少する中、アーカイブ化により講師の貴重な肉声や映像を保存し、地域の子も達や歴史を学ぶ方々に向けて資料作成やアーカイブ化したDVDの貸出を行った。資料の中でも特に子ども達の社会科学習に効果的に活用できる冊子を2種類作成した。また、「登録有形文化財展」も実施し大北地域に存在する国登録有形文化財を紹介するとともに、地域の歴史・文化の魅力を発信した。

いずれも、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの実施となった。



【文化講座：仁科盛信の周辺に生きた人々】

【目標・ねらい】

- ① 文化講座のデジタルアーカイブ化
- ② 汎用性の高い冊子の作成
- ③ 大北地域の国登録有形文化財展開催

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 文化講座をデジタルアーカイブ化しDVDでの貸出実施と観光ボランティアへ寄贈を行った。
- ② 小中学校の社会科学習で活用できる冊子2種類の作成を行った。各3500部とすることで、子ども達以外への活用も見込めるものとして作成した。
- ③ 「登録有形文化財展」も実施し、来館者に大北地域の登録有形文化財について知っていただいた。

※自己評価【 B 】

【理由】アーカイブ化したDVD貸出や効果的かつ汎用性のある冊子作成が出来て大変良かった。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、文化講座の開催や小中学生の社会科学習受入れなど、制限せざるを得ないことが多い一年となり、予定変更になったことは残念だった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

資料やパネル・冊子などを活用し、大町市内外の小中学生の社会科学習や地域を学んでいる方々に地域を知っていただける機会を充実させる。継続して文化講座のデジタルアーカイブ化も行い、DVDの貸出やSNSを活用した発信も行う。また、登録有形文化財展も継続実施する。いずれも地域の魅力発信や地域を知っていただける大切な事業として今後の継続を目指します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある